

要望書の提出

(左から杉島県議、内沼県議、小谷野県議、上田知事、上副市長、友山入間市副市長、金子日高市副市長)



上副市長による要望趣旨説明



県道飯能寄居線の道路改良工事にに関する要望書

本路線は、入間市と飯能市を結ぶ国道２９９号を起点とし、飯能市内を縦貫し、日高市を経て寄居町に至る県西部を南北に貫く広域幹線道路です。

またその南側は、飯能都市計画道路阿須小久保線を経て県道富岡入間線へと接続しています。

本路線は、県西部地域の住民にとって、広域幹線道路としての機能はもとより、救命医療の拠点である埼玉医科大学国際医療センターへの主要なルートとなっているほか、飯能市内においては埼玉西部消防組合飯能日高消防署にも面した非常に重要な路線となっております。

現在、日高市内におきましては、バイパスを整備していただいておりますが、渋滞が解消されつつある状況でございますが、国道２９９号バイパスとの交差点周辺では、通勤時など依然として慢性的な渋滞が発生している状況でございます。

また、本路線に面した飯能市大字宮沢地内において、ムーミンの物語を主題としたテーマパークの建設が進められており、現在、このテーマパークに進入する交差点においては、事業者による右折帯の設置が予定されているところでありますが、このテーマパークの開業による通行車両の増加により、更なる交通渋滞の発生が予測され、迂回路のない本区間においては、救急自動車などによる円滑な救急搬送などに多大な影響を与えることが懸念されています。

つきましては、本路線の慢性的な渋滞解消や沿線自治体の広域的な相互連携強化はもとより、県西部地区の救急医療体制の強化に資するため、特段のご高配を賜るようお願い申し上げます。